

分野	授業科目	単位（時間）	開講年次	講師名
専門基礎分野	関係法規	1（15）	3年前期	永田 まなみ （実務経験あり）
科目目標	1) 医療における看護活動を支える関係法規について歴史的変遷も含めて内容の整理ができる。 2) 看護活動を行う際の義務と責任を理解する。 3) 憲法における「生存権」を保障する制度と、それを支える法の体系の全体像を描くことができる。 4) 看護の役割と責任を果たすうえで、法がどう関わっているかについて言葉に表現できる。			
授業内容	1. 法の概念と衛生法（テキスト第1章）	2	講義	永田
	1) オリエンテーション 講義の目的・目標、学習方法について 2) 法とは何か、法はなぜ必要なのか、法が目指すもの 憲法における基本的人権、三権分立について 3) 法の種類、法の表記の形式 4) 重要概念の理解・衛生法の分類（6法）の確認	2	講義	
	2. 看護法（テキスト 第2章）	2	講義	
	1) 保健師助産師看護師法 法の目的・定義・構造・免許・試験・教育・業務・ 研修・義務 2) 看護師等の人材確保の推進に関する法律	2	講義	
	3. 医事法（テキスト第3章） 医療施設の規制法と医療関係資格法 医療を支える法	2	講義	
	4. 保健衛生法（テキスト第4章） 共通保健法（地域保健法・健康増進法） 分野別保健法 感染症に関する法 食品に関する法	2	講義	
	5. 薬務法（第5章） 薬事一般に関する法律 人などの組織を用いた医療関連法 薬害被害の救済と麻薬・毒物などの法	2	講義	
	6. 社会保障制度と法（テキスト第6・7・8章） 1) 社会保障制度の歴史的発展の沿革 2) 制度を支える法の構造 医療・介護・年金の保障 福祉の基盤となる法 児童、高齢・障害分野・手当に関する法 労働法と社会基盤整備法	2	課題学習	
7. 環境法（第9章）	2	発表		
8. 試験	1	試験	永田	
テキスト/ 参考書/視 聴覚/その 他の教材	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度（4）看護関係法令（医学書院） 国家試験過去問題集、「社会福祉」「総合医療論」「公衆衛生」のテキスト・ノートも副読本とする。			
成績評価 の 方法	GW/授業における発表状況、レポート、発表資料など（30点）。 筆記試験は、国家試験過去問題から（40点）。 テキストにおける言葉の定義、各章に掲載されている＜ゼミナール復習と課題＞などから（30点）			
備考	内容を暗記することに重点を置いていません。この学習を通して、医療（看護）に関わる法規の概要 と全体像を理解し、看護師の役割や責任と、法との関わりについて言葉で説明できるようになる。			